

私の宝箱

「漫画のすすめ」 高橋義孝

私は今年40歳になろうとしていますがいまだに漫画が大好きです。くれぐれも言っておきますが、世間一般でいうアニメおたくではありません。純粹に漫画を見ること、読むことが好きなのです。漫画との出会いはいつだろうかと考えてみると、物心がついた時にはすでに見ているように思います。

テレビで見ること、本で読むことも好きで、気に入った本が見付ければ一巻から全て集めて本棚に並べていました。ちなみに、今でもその漫画本達は我が家の物置と化したひと部屋に並んでいます。小さい時は何十回も同じ本を繰り返し読んで、登場人物になったつもりで空想の世界に浸っていたのではないかと思えます。さすがに今の年令では空想に浸ることはありませんが、話の内容が面白くてもどかしい位に夢中になることや、恥ずかしながら目をウルウルさせながら見ていることもしばしばあります。

現在(と言っても10年以上経ちますが)私がすっかりはまっているのは「ワンピース」という漫画です。おおぞらの中にも「ワンピース」好きは何人もいて、話し出したら止まらなくなってしまう。よく飽きずに見ているなあと思うかも知れませんが、飽きるどころか年々はまっ

ていきます。

自分自身の性格は、どちらかと言えば冷めている方だと思うのですが、この漫画を読んでいて主人公のどこまでも真っ直ぐな熱い性格や、主人公を取り巻く周りの登場人物との出会いやエピソードを知っていく度に、「ワンピース」の世界にどんどん引き込まれていきます。すでに58巻も発売されていますが、最新刊を読んでいても初期の頃のエピソードとの関係が重要であったり、一話一話が物語の完結ではなくて、いろいろな人との繋がりが話をどんどん膨らませて展開していくところに、惹きつけて止まない魅力を感じます。(ちなみに最新刊は発売日の午前中に買いに行き、すぐに目頭を熱くしながら読み終えました。)

漫画を見ないという人にとっては、くだらない物に見えるかもしれせん。確かに漫画好きの私が見ても、首をひねってしまいたくなるようなものもあります。ですが、ストーリーのしっかりした漫画は小説のようでもあり、映画を観ているようでもあるのです。一度はまってしまつと、もう続きが知りたくて知りたくてワクワクしてしまいます。

今まで漫画をほとんど見たことがない人も、学生時代はよく見ていたが働き始めてからは見なくなった人も、ふと時間が空いた時などに一冊手にしてみたらいかがでしょうか。本当に面白い漫画に出会えば、娯楽の一つとしてだけでは言い表すことのできない奥深さをわかってもらえると思います。

(はるか 介護員)

《私の一曲》

私の一曲

鈴木克久



私は5歳年上の従兄弟の影響で、中学時代にビートルズを聴くようになりました。メンバーの中でもジョン・レノンに惹かれます。今でもファンで、埼玉県の『ジョン・レノンミュージアム』(今年の9月で閉館になります…残念!)まで出掛けてしまうほどです。そんなジョン・レノンの曲で『ラブ』という歌があります。『ラブ』は、ビートルズ解散後のジョン・レノン初のソロアルバム『ジョンの魂』の中の一曲です。最初に聞いた時は「地味でつまらない曲だなあ。ビートルズの頃はもっと良い曲を書いていたのに。」という感じでした。しかしその後、時を経る毎に『ラブ』という曲の素晴らしさが分かってきて、いつの間にか一番好きな一曲になっていました。その詩の一節を少し紹介します。【Love is real Real is love Love is feeling Feeling love Love is wanting to be loved Love is touch touch is love...】(愛は、現実 現実こそは愛 愛は、今感じていること) その感

覚こそ愛 愛は、愛されることを求めていること 愛は触れること 触れることこそ愛 愛は...

この歌の特徴は、現在進行形(ING)で書かれていることです。ジョンはこの歌を作るに際して、

その時に感じているまを何の飾りも付けないでストレートに歌にしているようで、無駄な言葉も音も一切ありません。曲は静かなピアノによるイントロが始まり、抑えた声で淡々と歌い上げていきます。「あれ?もう終わり?」という感じで曲が終わります。この間の曲の流れは、静かに一日が明け、やがて一日が終わわり、夜の帳が降りてきて闇に包まれるようなイメージがあります。しばらくそのシンブルなメロディが頭の中に残って離れない、まさにこれが『ジョンの魂』なのだろうかと感じます。

おおぞらに赴任してまだ半年にも満たない私ですが、利用者さんと職員との愛に満ち溢れた場面が、日常的に見られる風景とこの曲がオーバーラップされてなりません。曲の素晴らしさを文章にするのは難しいですが、心が震わされる深みのある一曲ですので、まだ聴いたことがないという方は是非一度聴いてみてください。

(総務課おおぞら係)